

● 計画の進捗管理

PDCA サイクルの循環

本計画に位置づけられた取組は、「美ら島沖縄」風景づくり協議会において、各主体における取組状況の進捗確認・評価を定期的に行い、PDCA サイクルを回していく中で継続的改善を図ります。



持続可能な体制づくりの実現に向けた点検・評価方法の構築

持続可能な協議会とするためには、会員の主体的な取組の促進や協議会に参加することのメリットを実感できることが重要です。それらを踏まえ、下記のポイントに留意した点検・評価方法について検討し、協議会の中で取り組みながらブラッシュアップを図ります。

点検・評価方法のポイント

- ①自主的な取組内容の確認 … 各主体の取組内容と行動計画の位置づけを再認識できる確認方法を検討
- ②協力体制の強化 … 課題解決に向けた支援の要請や関係機関・団体への協力要請ができる仕組みを検討
- ③取組内容の可視化 … 各主体の取組内容が一目で分かるような可視化方法について検討
- ④持続的な組織とするための運営の工夫 … 会員の取組を互いに共有・評価・賞賛し風景づくり活動や協議会への参加意欲向上につなげ、持続的な協議会運営を検討

計画全体の評価指標の整理

景観形成や風景づくりの取組は、各取組による効果を計る直接的なアウトカム指標の設定が難しいため、以下に掲げる「県民意識調査の満足度」を本行動計画全体の評価指標として位置付け、協議会構成員の風景づくりに対する取組の目的共有、意識の醸成を図ります。

項目	H27年 (参考値)	H30年 (参考値)	R3年 (基準年)	R6年以降
豊かな自然が保全されていること	47.6%	47.2%	48.1%	満足度向上
自然環境の保全と利用のバランスが取れていること	37.7%	36.9%	37.8%	満足度向上
地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んであること	29.3%	28.7%	26.6%	満足度向上
自分の住む町の景観、町並みが美しいこと	35.4%	38.3%	39.5%	満足度向上
公園や親しめる自然などがまわりにあること	46.3%	45.8%	50.5%	満足度向上
住んでいる地域や社会をよくする活動ができる機会が増えていること	27.4%	25.0%	24.0%	満足度向上
地域づくりに取り組む人材の育成が図られていること	15.4%	12.3%	16.0%	満足度向上

※割合は「非常に満たされている」+「ある程度満たされている」の合計

お問い合わせ



沖縄県 土木建築部 都市計画・モノレール課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL: 098-866-2408

沖縄県景観向上行動計画

“美ら島沖縄” 風景づくり行動計画

概要版

令和5年3月 沖縄県



● 計画の目的

本計画は、景観に対する県民意識の高まりや社会状況の変化に対応するとともに、沖縄の景観の価値を再認識し、官民一体となって沖縄の風景づくりに取り組むことを目的に、風景づくりに関する今後10年間のアクションプログラムとして取りまとめるものです。

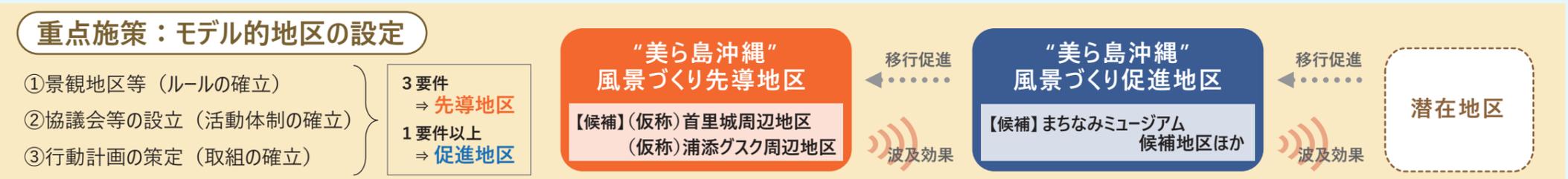
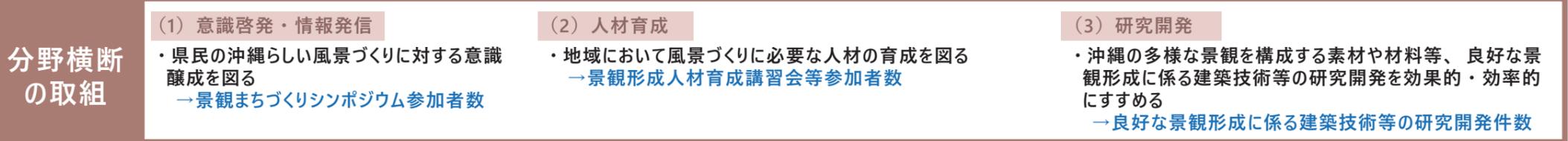
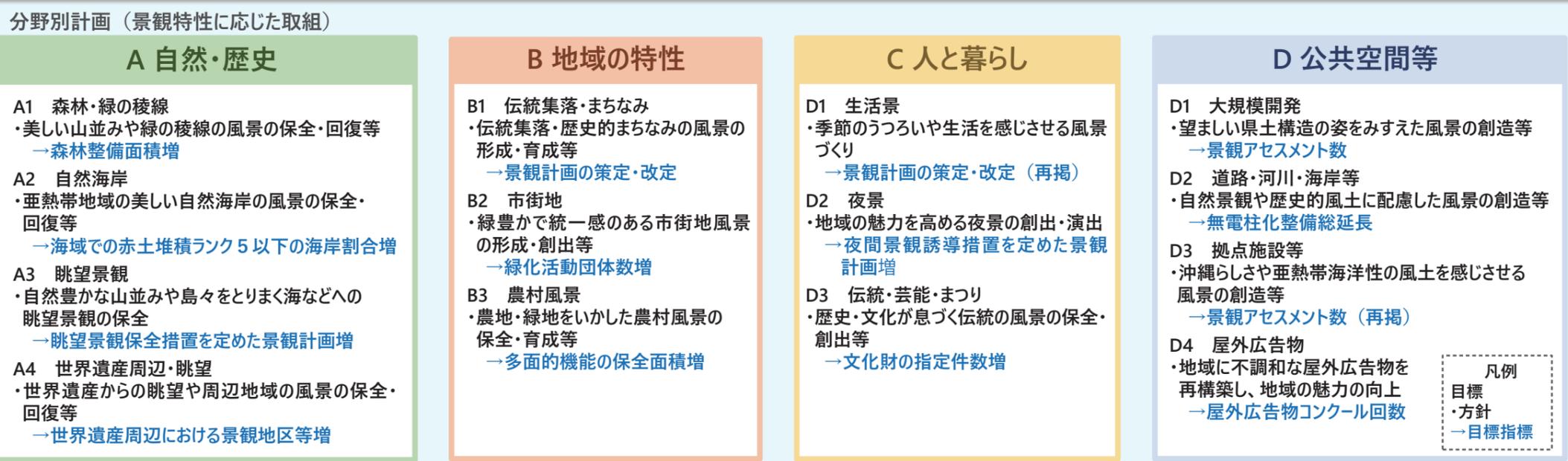
● 計画の期間

行動計画の対象とする期間は、2023年度（令和5年度）～2032年度（令和14年度）の10年間とします。

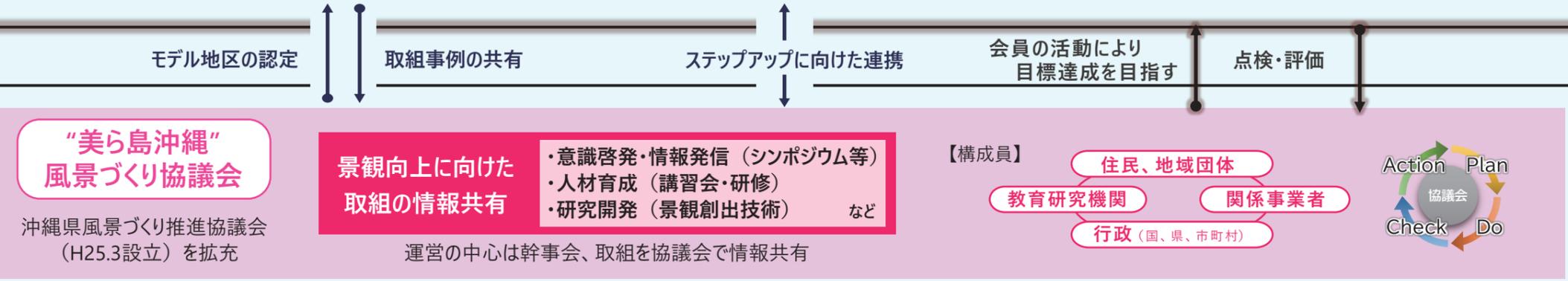
【景観に対する取組の推進】
 ・景観行政団体、景観地区等の増
 ・沿道景観技術向上ガイドライン
 ・世界自然遺産登録
 ・～美ら島沖縄～花と樹木の沿道景観計画
 ・景観アセスメント

【社会情勢の変化】
 ・ソフトパワー ・SDGs ・ポストコロナ ・サステナブルツーリズム ・オーバーツーリズム ・高齢化

行動計画

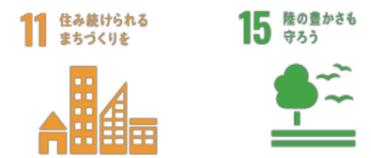


推進体制



上記施策の展開による県民満足度の向上

住んでよし、訪れてよし“美ら島”沖縄（沖縄県景観形成基本計画）
 悠久の歴史や伝統文化に育まれた魅力ある空間と風土の形成（新・沖縄21世紀ビジョン基本計画）



A 自然・歴史（骨格となる自然・歴史の風景づくり）

行動項目及び実施主体、具体的な取組内容の概要を以下に示します。

A1 森林・緑の稜線

行動項目① 森林など、まとまりのある緑の保全・再生

沖縄県	・森林計画に基づいた森林の管理・育成を通じ、健全な緑を維持 ・自然環境再生に取り組む市町村等の活動を支援	
市町村	・市町村森林整備計画等の作成・更新、森林組合等と協力した適切な森林保全	
木材関連業界	・県、市町村が行う植樹への協力、山の保全・適正な管理	

行動項目② 身近な緑の保全推進

市町村	・景観計画、緑の基本計画の策定・更新などにより、クサティ森や斜面緑地など、住民の身近な緑の保全
-----	---

行動項目③ 自然環境保全と観光の両立

沖縄県	・世界遺産登録地における自然環境保全体制の構築及び適正な観光管理 ・世界自然遺産や国立公園の自然を活用したエコツーリズムの推進 ・第6次沖縄県観光振興基本計画に基づくレスポンシブルツーリズムやサステナブルツーリズムの推進
市町村	・世界自然遺産登録地の自然環境の保全体制、自然環境保全に対する意識啓発や情報発信 ・地域住民や事業者と連携・協力し、自然を生かした持続可能な観光に向けた環境整備、体制整備
観光関連業界	・自然環境や受入れ地域に配慮したツアー開発、業界内への意識啓発

A2 自然海岸

行動項目① 自然環境や景観・親水性に配慮した海岸保全施設の整備

沖縄県	・海岸の水辺環境の再生、自然環境に配慮した海岸整備 ・景観、親水性に配慮した海岸整備、利用者の利便性・快適性向上 ・サンゴ礁や藻場、干潟等の保全と再生	
市町村	・県、地域住民、各種団体と連携した海岸の清掃・美化・緑化等の推進 ・地域住民への海岸保全に係る意識啓発等 ・サンゴ礁保全に係る啓発活動や協議会への参加等	

行動項目② 赤土等流出防止対策

沖縄県	・赤土等流出防止交流会・講習会の開催等による普及啓発の強化及び農地の赤土等流出防止対策 ・赤土等流出の実態に応じた営農支援の強化、グリーンベルトの設置など各種発生源対策の強化 ・沈砂地等の既存施設の維持管理や堆積赤土等の除去、流出防止に関する調査研究等 ・「沖縄県赤土等流出防止条例」の成果検証及び必要に応じた見直し
市町村	・地域と一体になって農地からの耕土等流出を防ぎ、公共海域を保全

行動項目③ 海岸漂着物対策

沖縄県	・県内各地における海洋ごみの調査、回収等に取り組むとともに、発生防止のための取組を推進
市町村	・海岸管理者や海岸の土地の所有者、管理者への協力による地域の海岸景観と環境の保全 ・地域住民、地域事業者と連携した海岸の清掃・美化

A3 眺望景観

行動項目① 眺望点及び眺望景観の保全

沖縄県	・市町村への眺望景観保全のための助言・協力等（事例紹介・情報提供など）	
市町村	・景観計画の策定・更新等による地域の大切な眺望景観の保全 ・都市計画制度（景観地区、地区計画、高度地区の指定等）の活用検討	

行動項目② 眺望阻害要因（鉄塔ほか）の整理・改善

沖縄県	・市町村と連携し、広域的視点からの鉄塔関連事業者と景観配慮に対する調整	
市町村	・眺望景観を阻害する鉄塔等所有者・管理者との連携・調整	
鉄塔関連事業者	・地域へ協力し、連絡会等への参加、阻害要因となっている鉄塔の整理	

行動項目③ 優れた眺望景観の活用

沖縄県	・ポータルサイトやSNS等を活用した優れた眺望景観のPR	
市町村	・SNS等を活用した地域の眺望景観のPR	
観光関連業界	・観光資源として眺望景観のPR（眺望景観を活用したツアー商品開発等）	

A4 世界遺産周辺・眺望

行動項目① 世界遺産及び周辺地域の環境整備

国	・首里城正殿等の早期復元に取り組むとともに、復元過程の積極的な情報発信・公開
沖縄県	・琉球王国のグスク及び関連遺産群の保全や周辺整備による歴史と調和した景観の創出 ・世界遺産周辺における景観のルールづくりや法的規制等の導入支援 ・沖縄の歴史的景観に調和する空間として、首里城公園、中城公園などの都市公園の整備 ・世界遺産及びその周辺の良い景観等に関する情報発信 ・「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの実現に向けた取組 ・首里城に関連する文化財等の適切な保護、景観に配慮した復元整備等
国・沖縄県・那覇市	・首里杜地区まちづくり推進協議会と連携のもと、自然・歴史・文化を感じるまちづくりの推進
市町村	・世界遺産と一体となった歴史文化の薫るまちなみ景観やグスク等からの眺望景観の保全

行動項目② 歴史的景観を活用したまちづくりの推進

沖縄県	・世界遺産周辺市町村と連携し、歴史まちづくり法の活用を支援 ・景観資源を保全するため、各種技術者の育成や資材の確保等 ・世界遺産及びその周辺の良い景観等に関する情報発信（再掲） ・復元過程の積極的な情報発信・公開、「見せる復興」への取組	
市町村	・地域の歴史・文化等の特性を生かしたまちづくり	
観光関連業界	・世界遺産を活用した観光商品の開発、持続的な観光地マネジメントへの理解と参画	

B 地域の特性（地域らしさをいかした統一感のある風景づくり）

行動項目及び実施主体、具体的な取組内容の概要を以下に示します。

B1 伝統集落・まちなみ

行動項目① 景観計画等の策定・改定、内容の充実

沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> 景観計画策定・改定に係る市町村の取組支援、助言等（情報提供） 景観行政団体への移行促進や地域住民が主導的役割を担う風景づくりの推進体制の構築促進
市町村	<ul style="list-style-type: none"> 景観計画の策定・適切な運用、景観誘導にかかる内容の充実 伝統的集落、歴史的まちなみを有する市町村の景観計画策定及び景観地区指定等の誘導強化（*）
景観整備機構	<ul style="list-style-type: none"> 景観計画策定や内容充実のプロセスにおいて専門的な立場からの助言・取組支援 地域の景観重要樹木候補の調査、指定後の適切な管理の助言、ワークショップ等運営支援

*本項目は B2、B3 には再掲なし

行動項目② 伝統集落や歴史的まちなみの保存活用による地域の活性化

沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し伝統的集落、歴史的まちなみ景観の保全及び地域の観光資源としての活用に向けた効果的施策の展開 伝統的木造住宅の保全や技術の継承 自然環境や景観の保全に配慮した居住環境の形成
市町村	<ul style="list-style-type: none"> 地域の景観資源の保全等、地域の歴史・文化等の特性を生かしたまちづくり 地域団体や住民と連携しつつ、伝統集落や歴史的まちなみを生かした施策等展開、情報発信 景観重要公共施設・建築物・樹木の指定など、まちなみの顔となる景観資源の保全
観光関連業界	<ul style="list-style-type: none"> 特徴ある地域資源（伝統集落、歴史的まちなみ等）として情報発信
景観整備機構	<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献活動を通して歴史的遺産の保存・再生・活用、景観の保全推進
建築士会	<ul style="list-style-type: none"> ヘリテージマネージャーの育成

行動項目③ 古民家再生の取組

沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> 古民家の保全・再生・活用に関する情報発信（講習会等）、伝統的木造住宅の保全や技術の継承
市町村	<ul style="list-style-type: none"> 地域内の古民家の実態調査・把握、保存・再生・活用や流通支援
古民家再生協会	<ul style="list-style-type: none"> 古民家活用・保存に向けた連携体制の構築や古民家鑑定士等の育成
景観資材製造業界	<ul style="list-style-type: none"> 伝統建設資材の流通・拡大、製造等の技術継承
不動産業界	<ul style="list-style-type: none"> 古民家の取扱いや所有者への情報提供、リノベーション等による古民家流通促進への協力



B2 市街地

行動項目① 景観計画等の策定・改定、内容の充実（再掲*）

*再掲のため、内容省略（B1 行動項目①参照）

行動項目② 計画的なまちづくりや緑化の推進等

沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> 「緑の美ら島づくり行動計画」に基づく緑地面積の増加や質の向上 県民や地域団体、企業等が取組む緑化活動の支援 花と緑にあふれた環境づくりとしての都市公園整備の推進 ～美ら島沖縄～花と樹木の沿道景観計画に基づく適切な道路植栽及び管理等 地域特性に応じた安全快適な通行・歩行空間の創出 市町村における空き家対策の促進支援
市町村	<ul style="list-style-type: none"> 「緑の基本計画」ほか緑化施策・計画の策定、実施 県や地域と連携・協力した美化・緑化のイベント開催等、普及啓発 気候変動への対策を見据えたまちづくりの推進 景観、公衆衛生、防災等の観点からの空き家対策の充実
景観整備機構	<ul style="list-style-type: none"> 専門技術を通じた緑化推進に向けた協力・助言等
不動産業界	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の流通促進に向けた協力



行動項目③ 墓地の緑化等による修景の促進

市町村	<ul style="list-style-type: none"> 墓地整備等における支援、情報提供、景観上重要な場所等の立地について適切な規制・誘導
-----	---

B3 農村風景



行動項目① 景観計画等の策定・改定、内容の充実（再掲*）

*再掲のため、内容省略（B1 行動項目①参照）

行動項目② 農村振興を通じた農村風景の整備

沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> 農山漁村が有する豊かな自然環境や沖縄らしい風景づくり、歴史・文化等の地域資源の保全・活用による農山漁村の多面的機能の維持・発揮 農山漁村の多面的機能の発揮に取組む組織の認定と広報 農山漁村地域における景観に配慮した地域づくりの活性化と人材育成 農山漁村と都市との交流を促進するためのグリーン・ツーリズム実践者の支援・育成等
市町村	<ul style="list-style-type: none"> 農山漁村地域における景観に配慮した地域づくりの活性化と人材育成 景観農業振興地域整備計画等の策定による農業施設等の景観誘導や沖縄県赤土等流出防止条例に基づく赤土防止対策の推進
観光関連業界	<ul style="list-style-type: none"> グリーン・ツーリズム等の振興、農村観光や農村の魅力の PR 実施、イベント協力

C 人と暮らし（季節や生活を感じさせる風景づくり）

行動項目及び実施主体、具体的な取組内容の概要を以下に示します。

C1 生活景

行動項目① 住民参加の風景づくりの推進

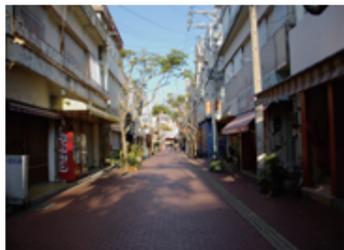
沖縄県	・地域づくりに関する事例等の収集・情報発信、市町村や団体への地域づくり関連施策の活用促進
市町村	・地域住民主体の風景づくり支援、住民の景観への関心を高める施策を実施 ・地域特性を生かした景観計画の適切な運用
景観整備機構	・行政や地域住民への景観づくりに関する情報提供・アドバイス、行政と地域住民間のコーディネート、ワークショップや講座等の企画、開催等

行動項目② 景観重要樹木の指定に向けた取組の推進

市町村	・地域のシンボルとなる樹木、御獄林などの保存に向けた調査検討、協力体制づくり
景観整備機構	・地域における景観重要樹木の調査、指定後の適切な管理等

行動項目③ 地域に残る生活文化や産業等が創る風景の保存

沖縄県	・農山漁村が有する豊かな自然環境や沖縄らしい風景づくり、歴史・文化等の地域資源の保全・活用による農山漁村の多面的機能の維持・発揮 ・離島地域のルールや文化の違い等について観光客に周知するなどのレスポンス・ツーリズムの推進
市町村	・産業振興と連携した景観形成の推進 ・地域の地場産業が育んだ個性的な産業景観の保全・活用



C2 夜景

行動項目① 景観計画等の策定、内容の充実

沖縄県	・景観計画策定・改定に係る市町村の取組支援、助言・アドバイス等情報提供（再掲）
市町村	・必要に応じた景観計画への夜間景観、照明等に関する項目の設定
景観整備機構	・景観計画策定や内容充実のプロセスにおける専門的な立場からの助言や取組支援（再掲）

行動項目② 星空への眺望の保全、夜景の創出のための関係者の連携

沖縄県	・首里城のライトアップ
市町村	・夜間景観に関するマスタープランの策定等による星空への眺望及び夜景を生かしたまちづくりや公共空間整備の推進 ・夜間景観に配慮した照明器具・サイン等の設置検討、地域の特徴を生かした印象的な夜間景観の形成 ・関係事業者等と連携した夜景による地域演出
観光関連業界	・行政と連携した地域の夜景を生かした観光プログラムの企画、開催
屋外広告物業界	・行政や関係事業者との連携、業界内の意見集約等 ・地域らしい美しい夜景創出に資する広告物のデザインを推進



C3 伝統・芸能・まつり

行動項目① 伝統行事の保全・継承及び観光資源としての活用

沖縄県	・伝統行事の保存や継承に向けた取組支援 ・民俗文化財の調査や映像・記録作成等に係る関係機関への支援を通じた文化財の保存・活用 ・シンポジウム等により地域や島の伝統行事の伝承・復元等に向けた取組を推進 ・地域の歴史、伝統的風習、伝統行事等に対する住民の愛着心醸成、地域外との交流を通じた地域文化の掘り起こし、県内各地で開催されている伝統芸能や地域行事の積極的な発信 ・本県のソフトパワーを生かした多様なツーリズムの推進
市町村	・地域主体イベントへの支援、協力 ・地域に残る伝統や芸能、祭り等の調査、保存・継承、活用
観光関連業界	・県、市町村と連携し、地域の祭り、イベントの情報発信、イベント企画等 ・文化・伝統・芸能等のソフトパワーを生かした良質な観光体験や沖縄の魅力を生かしたサービスなどの付加価値の高いツーリズムを推進

行動項目② 地域に残る催事空間等、周辺風景の修景・保全

沖縄県	・本県の文化的な歴史遺産や風土等と調和し、自然と共生する憩いの場となる都市公園の整備
市町村	・地域に残る祭事空間等及び周辺風景の修景・保全の促進



D 公共空間等（沖縄らしさをいかした創造的な風景づくり）

行動項目及び実施主体、具体的な取組内容の概要を以下に示します。

D1 大規模開発

行動項目① 公共事業における景観形成の推進

国	・景観に配慮した社会資本整備のため、公共事業における景観評価を含む景観検討を実施
沖縄県	・景観アセスメントシステムの運用推進、公共事業を通じた良好な景観の創出や維持（特にモデル的地区、主要観光地等では着実に実施） ・公共事業に関する景観形成ガイドライン・マニュアルの活用推進
市町村	・景観上重要な事業や広域事業における景観アセスメントシステム等を通じ関係機関と連携したふさわしい景観形成 ・地形改変を伴う公共工事における景観ガイドライン等に従った景観への影響の回避・軽減 ・新規の市街地開発における周辺環境との調和に配慮した公共空間や施設整備等

行動項目② 民間事業における景観形成の推進

沖縄県	・県土構造の再編につながる駐留軍用地の跡地利用の戦略的推進 ・市町村と連携した新たな大規模開発の動向把握、周辺景観への配慮に向けた調整・協議
市町村	・景観計画等による大規模開発の景観面における誘導



D2 道路・河川・海岸等

行動項目① 自然環境や景観に配慮した河川や海岸の整備

国	・ダム管理を通じた水辺の自然環境の保全
沖縄県	・自然石等を用いた河川護岸整備や景観・環境に配慮した多自然川づくりによる河川の水辺環境保全・再生 ・沖縄らしい砂浜の創出や海浜緑地の創出など、地域の特性に応じた海岸の整備 ・ダムの整備・管理を通じた水辺の自然環境の保全
市町村	・関係機関と連携した自然環境再生や総合的な沿岸管理

行動項目② 世界水準の観光地にふさわしい沿道景観の形成

国	・道路空間の良好な景観形成に向けた無電柱化計画の推進 ・沖縄の顔となる主要道路における地域の環境に適した植栽の整備と良好な管理
沖縄県	・主要道路及び観光地へのアクセス道路における適正な植栽管理や飾花による沿道環境の形成 ・～美ら島沖縄～花と樹木の沿道景観計画に基づく道路植栽の適正な管理、技術検討 ・地域特性に応じた安全快適な歩行空間の創出 ・無電柱化の推進 ・景観アセスメントシステムの運用推進、公共事業を通じた良好な景観の創出や維持（再掲）
市町村	・主要道路における植栽整備や管理の適切な実施による沿道環境の形成 ・景観重要公共施設の指定などによる地域の特性に応じた良好な景観形成
電線管理事業者	・対象路線における無電柱化事業推進



D3 拠点施設等

行動項目① 拠点施設での景観創造の実現

国	・国営公園、港湾、空港など沖縄の玄関口や拠点となる施設での沖縄らしい良好な景観の創出
沖縄県	・まちの顔となる主要な公共建築物や港湾、交通施設等の整備における沖縄の風土・文化に調和した良好な景観の創出
市町村	・まちの顔となる主要な公共建築物の整備における沖縄の風土・文化に調和した良好な景観の創出

行動項目② 国際的な観光地にふさわしい景観形成

沖縄県	・離島の玄関口となる空港ターミナル一帯における沖縄の島らしさを生かした景観の演出
市町村	・観光協会や観光事業者と連携した地域ぐるみの良好な景観形成

行動項目③ 景観と調和する都市公園の整備推進

国	・沖縄らしい風景を感じる拠点としての海洋博公園、首里城公園の整備・維持
沖縄県	・沖縄の歴史的景観に調和する空間としての首里城公園、中城公園などの都市公園の整備（再掲）
市町村	・歴史資源、自然資源に親しめる主要公園の整備



D4 屋外広告物

行動項目① 屋外広告物行政の地方分権と地域に応じた計画策定の推進

沖縄県	・屋外広告物制度の県民や事業者に対する周知、届出率の向上 ・違反広告物の是正及び適正化 ・屋外広告物制度の効果的な運用のため、市町村への権限委譲促進
市町村	・地域性を生かすとともに、周囲の景観に調和するデザインとなるような屋外広告物の誘導 ・景観計画等における屋外広告物に関する誘導方針や許可基準の設定検討 ・地域の的確な屋外広告物の把握・誘導、条例制定による規制・誘導等の検討 ・よい広告物・サイン等への表彰制度創設など、インセンティブを設ける施策を検討

行動項目② 協働の取組による屋外広告物景観の改善

沖縄県	・都市景観向上に寄与する体系的で良好な公共サインのデザイン ・市町村による屋外広告物条例等の制定に対する支援・助言等
市町村	・地域性を生かすとともに周囲の景観に調和する公共サインのデザイン
屋外広告物事業者団体	・行政との連携による県民の屋外広告物への意識を高める取組 ・周囲の景観と調和した統一感のある質の高い屋外広告物のデザイン、景観創造の実践

● 分野横断の取組

(1) 意識啓発・情報発信

行動項目① 風景づくり PR イベントの開催

沖縄県	・ 景観フォーラム、風景写真展の開催等、風景づくり PR イベントを市町村と連携して実施
市町村	・ 景観フォーラム、風景写真展の開催等、風景づくり PR イベントを県・協議会と連携して実施
協議会	・ 景観フォーラム、風景写真展の開催等、風景づくり PR イベントの実施に協力

行動項目② 広報活動

沖縄県	・ 沖縄らしい風景づくりに係るポータルサイトや情報発信誌等を活用した多様な広報活動の実施
市町村	・ ポータルサイトや県民・観光客向け情報発信誌等を活用した多様な広報活動への協力
協議会	・ ポータルサイトや情報発信誌等を活用した多様な広報活動への協力・実施

(2) 人材育成

行動項目① 地域で風景づくりを担う人材の育成

沖縄県	・ モデル的地区を中心に、まちの風景やまちづくりに関心を持つ地域住民の育成 ・ 地域の風景づくりをけん引する地域景観リーダーの育成 ・ 次世代を担う子供たちへの風景学習の推進
市町村	・ 地域及び関連部局、県等と連携した多様な立場の景観人材の育成 ・ 地域まちなみガイドの育成
景観整備機構	・ 専門知識等を生かした講師やアドバイザー派遣、講座運営などを通じた人材育成への協力

行動項目② 景観技能者の育成と保護

沖縄県	・ 石積み修復や屋敷林の手入れなど、地域景観を保存・維持していくための技術者の育成 ・ 公共事業等を通じた計画的に景観技能者の育成支援 ・ 首里城の復元・修復を通じた伝統的な建築技術等に係る技術者の育成・確保 ・ 育成した技術やノウハウの横展開
市町村	・ 公共事業等を通じた計画的な景観技能者の育成支援

行動項目③ 景観づくり支援人材のスキルアップ

沖縄県	・ 市町村の景観行政担当者や地元コンサルタント、建築関連事業者等の学びを支援
市町村	・ 景観行政担当者のスキルアップ
景観整備機構	・ 専門知識等を生かした講師やアドバイザー派遣、講座運営などを通じた人材育成への協力

(3) 研究開発

行動項目① 景観創出に係る技術開発研究の実施

沖縄県	・ 沖縄県沿道景観向上技術ガイドラインや除草剤安全使用マニュアルの普及による沿道景観形成技術の向上 ・ 地場産材品質向上や景観創出新技术開発等、風景づくり推進のために必要な技術の研究・開発等
建設業界等	・ 県が作成した景観に関する技術ガイドラインやマニュアル等の普及 ・ 県等の技術研究開発への協力、伝統工法及び素材の周知・広報や活用
景観整備機構	・ 景観に係る緑化技術の研究や建築資材等についての助言、県等が行う技術開発・研究等への協力

行動項目② 最新技術等の活用による景観向上

沖縄県	・ ICT 技術等の活用による良好な景観の維持・向上
-----	----------------------------

● 目標指標一覧

景観形成基本計画の実現に向けて、今後 10 年間で目標とする指標を設定します。
(新・沖縄 21 世紀ビジョン実施計画等と連携・整合)

分類	指標	基準値	R6年度	R9年度	R13年度
A 自然・歴史（骨格となる自然・歴史の風景づくり）					
A1 森林・緑の稜線	森林整備面積	525ha (R2年度)	543ha	543ha	543ha
A2 自然海岸	海域での赤土堆積ランク 5 以下の海域割合	32.1% (R元年度)	63.0%	79.0%	100%
A3 眺望景観	眺望景観保全措置を定めた景観計画数	17 件 (R4年度)	24 件	31 件	41 件
A4 世界遺産周辺・眺望	世界遺産周辺における景観地区・準景観地区・重点地区数	8 地区 (R4年度)	9 地区	10 地区	11 地区
B 地域の特性（地域らしさをいかした統一感のある風景づくり）					
B1 伝統集落・まちなみ	景観計画の策定・改定数 *B2・B3 共通	41 回 (R2年度)	55 回	67 回	82 回
B2 市街地	緑化活動団体数	646 団体 (R2年度)	670 団体	680 団体	700 団体
B3 農村風景	多面的機能の保全が図られる面積	21,772ha (R4年度)	21,824ha (新規 52ha)	21,902ha	22,000ha
C 人と暮らし（季節や生活を感じさせる風景づくり）					
C1 生活景	景観計画の策定・改定数 【再掲】	41 回 (R2年度)	55 回	67 回	82 回
C2 夜景	夜間景観誘導措置を定めた景観計画数	23 件 (R4年度)	28 件	34 件	41 件
C3 伝統・芸能・まつり	文化財の指定件数	1,434 件 (R3年度)	1,458 件	1,476 件	1,494 件
D 公共空間等（沖縄らしさをいかした創造的な風景づくり）					
D1 大規模開発	景観アセスメント数	68 件 (R3年度)	98 件	128 件	168 件
D2 道路・河川・海岸等	無電柱化整備総延長	164.5 km (R2年度)	180.5 km	195.5 km	215.5 km
D3 拠点施設等	景観アセスメント数 【再掲】	68 件 (R3年度)	98 件	128 件	168 件
D4 屋外広告物	屋外広告物コンクールの回数	0 回 (R4年度)	2 回	5 回	9 回
分野横断の取組					
(1) 意識啓発・情報発信	景観まちづくりシンポジウム参加者数	200 人 (R4年度)	600 人	1,200 人	2,000 人
(2) 人材育成	景観形成人材育成講習会等参加者数	300 人 (R4年度)	900 人	1,800 人	3,000 人
(3) 研究開発	良好な景観形成に係る建築技術等の研究開発件数	0 件 (R4年度)	1 件	2 件	3 件

● 重点施策

モデル的地区の認定と支援

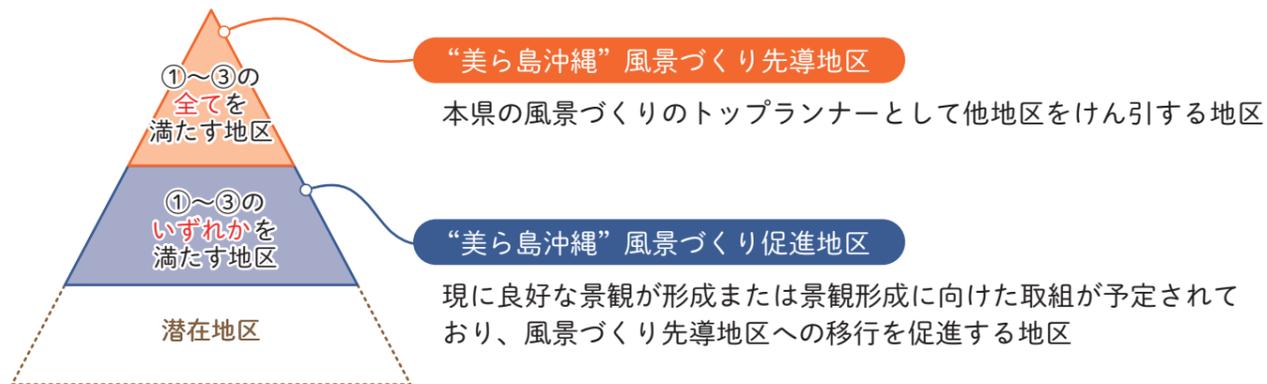
目的

様々な魅力を有する地区を認定し、それらを守り、育てていくために官民一体の取組を支援することを目的とします。

役割

沖縄らしい風景づくりのトップランナーとして良好な景観形成をけん引していく役割を担います。

モデル的地区の種類と要件



認定要件

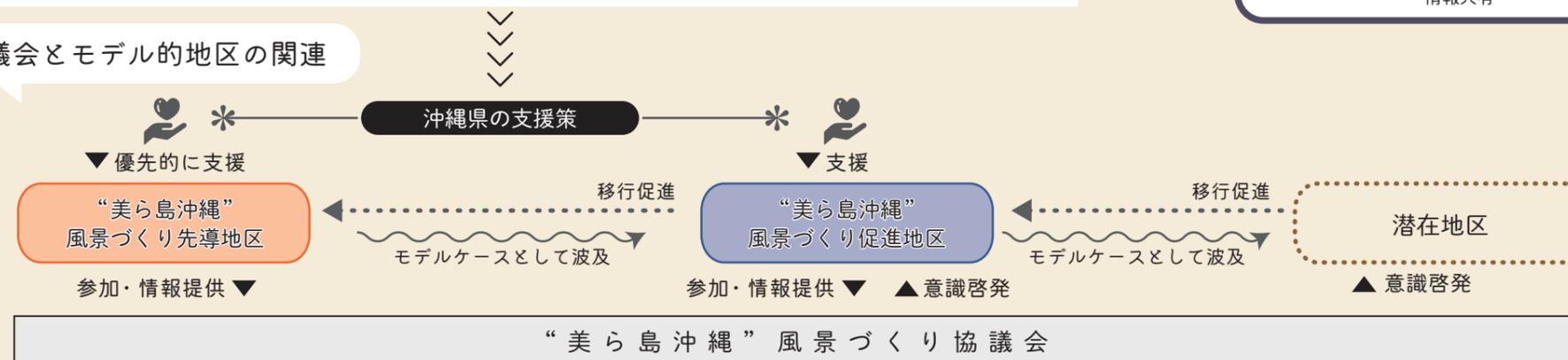
- ① 景観地区等 (ルールの確立) 景観地区 (準景観地区)、市町村景観計画における重点地区、地区計画など、景観形成に関するルールが定められた地区を含むこと。
- ② 協議会等の設立 (活動体制の確立) 地域住民、事業者、自治体等からなる協議会等を設立し、風景づくりに関する官民一体の推進体制が構築されていること。
- ③ 行動計画の策定 (取組の確立) 地区の目指すべき姿、実施する取組内容・実施期間、取組の実施体制等が位置付けられた行動計画を策定していること。

モデル的地区への支援

※風景づくり先導地区へ優先的に措置

- a. 地区住民等を対象とした人材育成
- b. 沖縄県風景づくりポータルサイトにおける情報発信
- c. 景観地区等に関する情報提供、助言等の支援
- d. 地区内の取組への景観アドバイザー (施策・事業) の派遣
- e. 地区内の公共事業等における景観評価システムの運用

協議会とモデル的地区の関連



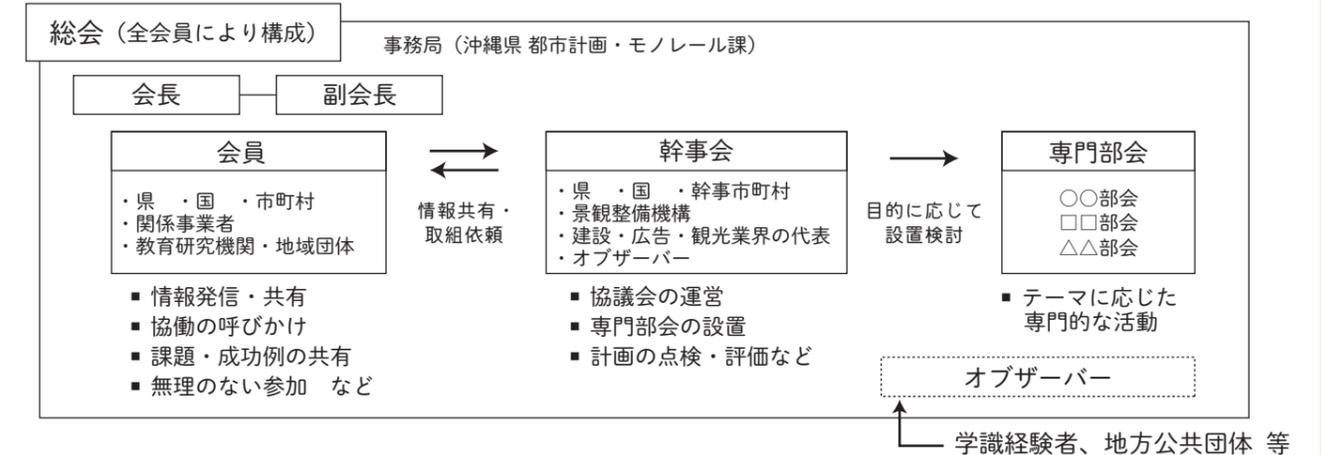
● 推進体制

“美ら島沖縄” 風景づくり協議会の設立

協議会の目的及び役割

- ◎ 国、県、市町村、景観整備機構、関連する事業者等の連携・協働を図り官民一体の横断的取組を促進し、風景づくりの推進に寄与することを目的に活動します。
- ◎ モデル的地区等における事業や取組に対して専門的知見から支援を行う支援体制の在り方について検討します。

組織体制



協議会の活動イメージ

